

特定技能

技能実習

その他



ベトナム

元技能実習生を中心にベトナム工場を設立。生産拡大で第三国への輸出も

フジ矢株式会社は、建設業や工場で使われるプロ用高級ハンドツールを製造し、主力製品のペンチ・ニッパーでは、国内シェアの半分近くを占めています。

ベトナム人技能実習生の活躍の場として設立したベトナム工場は順調に生産を拡大し、日本向け輸出に加え、現地販売や第三国向け輸出も増えてきました。

野崎社長にお話を伺いました。（インタビュー日：2020年11月）



野崎 恭伸 代表取締役

－ 外国人材を多数雇用されていると伺いました。

ベトナム人技能実習生を13名、受け入れています。2名は監理団体を通じて受け入れ、残りの11名は**当社のベトナム工場の社員を企業単独型で受け入れています**。全員20代の男性で、子供がいる者もいますよ。

他に特定技能1名と正社員2名がいます。合計16名で、全員ベトナム人です。

－ 正社員はどのように採用されたのですか？

特に外国人を募集したわけではなく、一般枠の募集に、他社の元実習生が普通に応募して来たのです。その社員が同国出身の友人を紹介して、もう1名雇用しました。

2名とも真面目で積極性もあり、現場の組み立て工程を担当してもらっています。

－ 外国人材の育成はどのように？

技能実習生には、1対1で日本人社員のメンターを付けています。教える側も勉強になっていますね。

また、**当社で5年間、技能実習を行い、3号を修了した者が特定技能に移行し、リーダーとして皆をまとめてくれてくれています。**



刃付け作業を行うベトナム人社員



メンターから指導を受ける技能実習生



ベトナム工場

ー ベトナム工場設立の経緯について教えてください。

ベトナム工場は、2007年に、社員15名中10名が当社の元実習生という体制でスタートしました。

そもそも、**ベトナム工場をつくったきっかけが、技能実習生の継続雇用**だったんです。せっかく日本で技術を習得しても、実習を終えてベトナムに帰国したら、その技術を活かして働ける場がなかったのです。

ー 現在のベトナム工場は？

進出して10年以上経ち、**設立時の元実習生が今は副工場長になっています。**

製造現場で100名規模になり、当社や他社の元実習生もいますが、地元で採用した者の割合が増えました。実際のところ、帰国したら、日本で技能実習生として働いていたときより給料が下がるので、ベトナム工場での勤務を希望しない者も出てきました。

そこで、**ベトナムで採用した者を日本で技能実習生として研修させ、現地に戻ってリーダーとして指導し、日本工場と同じ品質の製品を製造できるようにしています。**

当社のこだわりは、最終工程を職人の手作業で仕上げるのですが、日本で職人を採用するのは難しい。ベトナム工場は重要な生産拠点になっていますね。

ベトナム人社員がコア社員として現地情報をスムーズに入手できるので、現地調達も広がり、生産も拡大しています。当初は日本向け輸出だけでしたが、徐々に現地販売やアメリカ、ドイツ、タイといった第三国向け輸出も増えてきました。

ー 今後の外国人材の採用については？

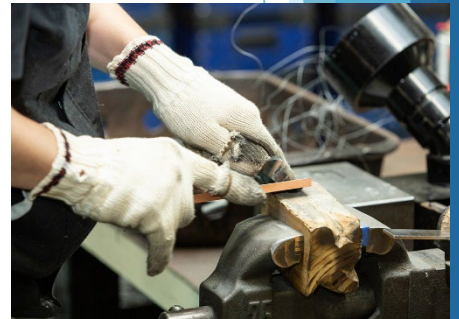
図面を描いたり、新製品を開発したりできる大卒・理科系の人材が欲しいですね。日本語力もある程度必要だと思います。

担当者からの一言

当社のペンチ、ニッパーは、ホームセンターでもよく見かけ、皆さんにもおなじみではないでしょうか？「元気なモノづくり中小企業300社（2007年）」を始め、数々の表彰を受けている、東大阪を代表するものづくり企業です。



ベトナム工場の社員



職人の刃付け作業



KUROKINシリーズ製品

【フジ矢株式会社】

住所：大阪府東大阪市松原2-6-32

代表者：代表取締役 野崎 恭伸

創業：1923年、設立：1944年

業種：作業工具の製造

資本金：3,000万円

従業員数：107名

(特定技能1名、技能実習生13名、永住者2名)

ベトナム法人：[FUJIYA MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.](http://www.fujiya-manufacturing-vietnam.co.,ltd)

HP：<http://www.fujiya-kk.com/ja/>